

付則 1 1

工事完成図の作成要領

目 次

工事完成図の作成要領	1
1. 目的	1
2. 工事完成図について	1
3. 工事完成図の提出について	1
4. 各種製図について	1

【添付資料】

参考 1：平面図（作図例）、記入内容
凡例図、完成（出来形）数量表
表題

参考 2：縦断図（作図例）
完成図の位置関係

工事完成図の作成要領

1. 目的

この要領は、延岡市下水道課が発注する下水道工事（以下「工事」という。）の完成図を作成するにあたり、製図、および提出部数等に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

2. 工事完成図について

（1） 完成図種類

図面種類	縮尺	備考
位置図	1：2500	
平面図 (管路図及び配管図)	1：500	必要に応じて拡大図を添付
縦断面図	縦 1：100 横 1：500	
横断面図	1：500	
各種構造図及び詳細図		

（2） 図面の大きさは A1 版とする。（判読できれば縮小版 A3 でも可）

（3） すべて完成（出来形）数量を必ず記載し、図面が複数になる場合、いずれかに総括表も記載すること。

（4） 平面図の角地には、すべて地番を記載すること。

3. 工事完成図の提出について

（1） 受注者は、工事完成後速やかに、完成図を一式そろえて監督員に提出し、内容について、審査を受けること。

（2） 審査後の完成図については、施工目的物引渡し日までに提出しなければならない。

（3） 提出図面

書 類：1 部

電子データ：1 部（CAD データ）

媒体（CD-R または DVD-R）

4. 各種製図について

（1） 位置図

工事箇所は、引き出し線を用いた旗上げにより明示し、工事箇所が複数ある場合は工区番号も記載する。

(2) 平面図

- ① 宅地境界線を記入し、所有者名及び地番を明記する。
- ② 地形、管路のほか管種、寸法、布設延長（実測水平延長）、布設位置及び付属設備の位置等を記載する。また、道路の区別（国道・県道・市道）、名称、舗装種別、河川名称（流水方向含む）、主要な施設、鉄道、その他必要な事項を記載する。
- ③ 凡例は、必要なもののみ抜粋して記載すればよい。
- ④ マンホール番号はNo○で表し、付近に地盤高を記載する。
- ⑤ マンホールの位置を示すオフセットは、官民境界を基準として両側、または両街角よりマンホールの中心までの距離を記入する。また、現地が水田などで汚水樹を設置しない場合も、作図例（詳細図）のようにオフセット図面を残し、位置、深さ等を明確にしておく。
- ⑥ 管底高は、上下流側ともマンホール付近（本管路線）に記載する。

(3) 縦断面図

- ① 布設管路の地形の断面図に、管及び付属設備等の縦断状態を記載する。
- ② 記載する事項は、測点、単（区間）距離、追加距離、地盤高、土被り、管底高、管勾配、人孔間距離、管径等である。

(4) 横断面図

- ① 布設管及び地下埋設物についての名称、形状寸法、占用位置、土被り等を、路線ごとに1箇所以上記載する。
- ② 道路全幅員、歩車道の区分のある道路は区分して、寸法線により表示すること。
- ③ 道路両側の法面、擁壁、塀、水路及び側溝等の状況は、判明できるよう製図すること。
- ④ 土留材を存置した場合は、種類、型式および数量を記載する。

(5) 各種構造図及び詳細図

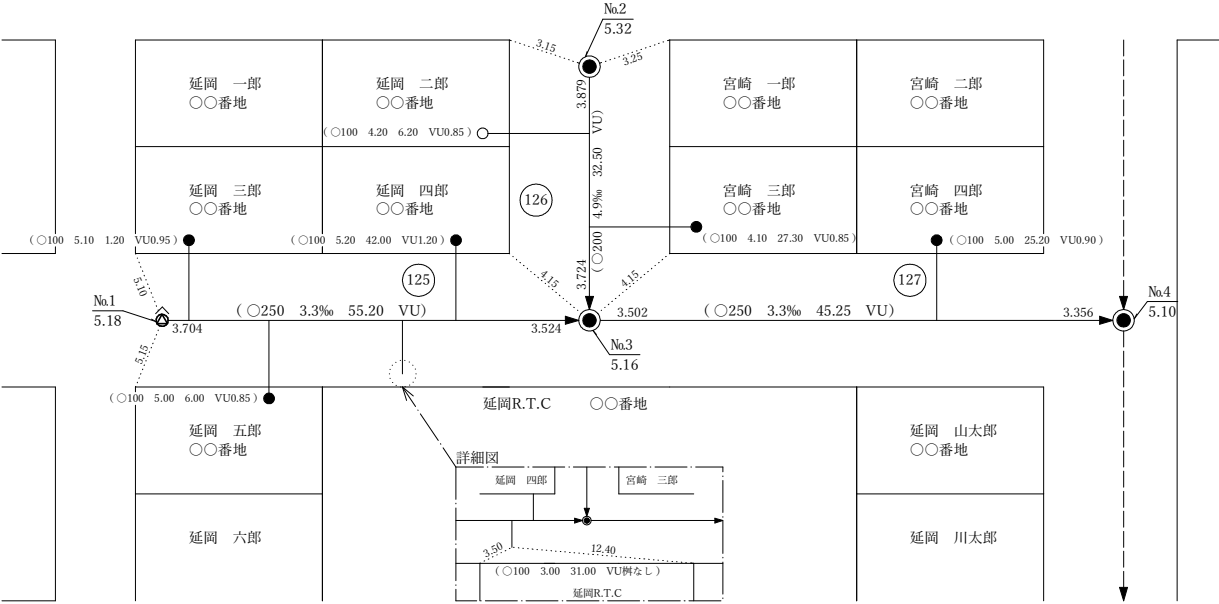
設計図面に準じて、平面、断面、正面及び側面等、相互を関連づけ順序よく詳細に製図すること。

(6) その他事項

- ① 既設マンホールは、No.の上または前に（既設）と記載する。
- ② 記載数値
距 離：小数第2位（第3位四捨五入）
管底高：小数第3位（第4位四捨五入）
土被り：小数第2位（第3位四捨五入）
地盤高：小数第2位（第3位四捨五入）

(2) 平面図 (作図例)

平 面 図 1 : 500



凡 例	
	污水管渠
	既設管渠
	1号マンホール
	2号マンホール
	3号マンホール
	4号マンホール
	楕円マンホール
	副管付マンホール
	小口径マンホール
	小口径塩ビ管
	污水樹及び取付管
	雨水樹
	特殊雨水樹
	塩ビ管
	陶管
	リブ付塩ビ管

※必要なもののみ抜粋して記載
また、上記の他に必要項目があれば追記すること

完成 (出来形) 数量		
種 別		完 成 数 量
本 管	φ 200	32.50m (31.60m)
	φ 250	100.45m (98.95m)
マンホール	1 号	3 基
	小口径	1 基
污水樹	宅地用	5 箇所
	車道用	1 箇所
雨水樹		1 箇所

管路情報の記入内容

本管

(φ 250 3.3‰ 45.25 RP)

管径 (mm)

勾配 (‰)

延長 (m)

※マンホール中心距離

管種

取付管

(φ 150 1.85 45.25 VU 0.80)

管径 (mm)

取付管延長 (m)

管種

污水樹の深さ (m) 及び種別

上流側マンホール中心より取付管分岐点までの距離
ただし、斜めに施工した場合、宅地内取付位置までの距離も () 内に記入する

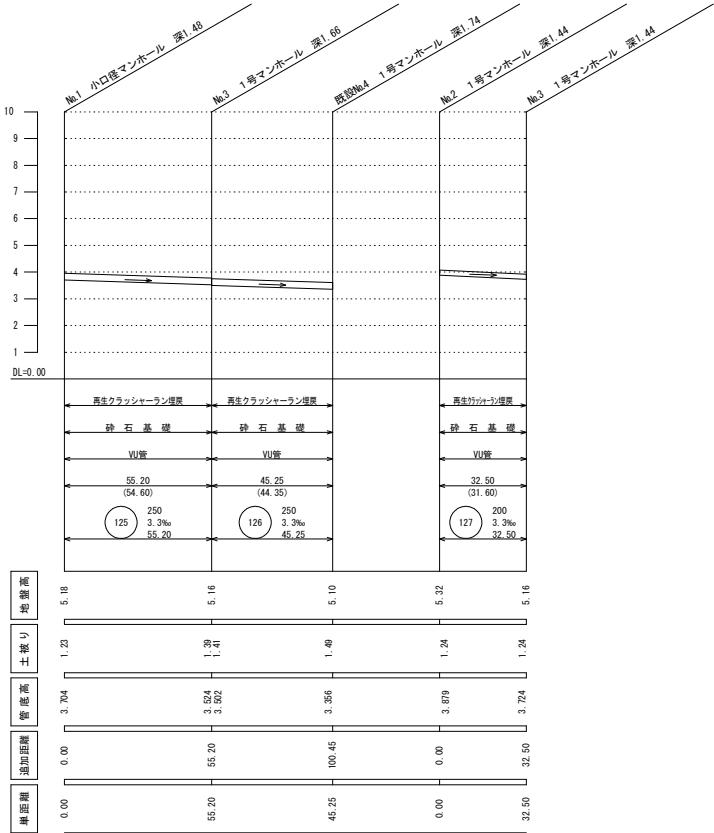
表題

すべての完成図の右下に記載すること

施工年度	令和 年度	工事番号	第 号
〇〇処理区 △△処理区分			
図面名	完 成 図		
工事名	〇〇工事（第〇工区）		
担当者	〇〇 〇〇	図面番号	〇 / 〇
受注者	△△建設株式会社	代理人	△△ △△
工事期間	令和〇年〇月〇〇日 ~ 令和〇年〇月〇〇日		
延岡市 上下水道局 下水道課			

(3) 縦断面図 (作図例)

縦断面図 縦 1:100
横 1:500



完成図の位置関係

下のとおり位置図、平面図、断面図、横断面図、各種構造図及び詳細図を作図するものとする。
なお、1枚の図面に収まらない場合は、この限りではない。

